

7/16
(水)

こんな芦刈になったらいいな！
～おしゃべりから始まる芦刈の未来づくり～

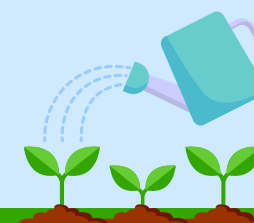
この日は、こども達に集まってもらい「日常生活で困っている事」「みんなでやってみたい事」を、それぞれ付箋に書いてもらいました。
その後、類似したテーマごとに話を聞きながら、まとめていきました。

あしかり

まちづくり

ニュース No.3

あしかりの未来は、きっとハレ
～芦刈のまちづくりは、みんなで～



あしかりまちづくり協議会設立準備会は、「未来のこども達のために」という想いを胸に設立。令和6年6月にみなさんからご回答頂いたアンケートを集計し、あしかりの課題を整理。今回、具体的な活動(案)の優先順位をみなさんと一緒に考えてみました。7/16(水)、7/27(日)のワークショップの様子をご報告します。

Q & A

Q これから何が始まるの？

A 芦刈に住む私たちが芦刈の今と未来のためにまちづくり協議会を設立し、「みんなのでくっしこ」で、課題解決に向けて取り組んでいきます！

Q どんなことをするの？

A 「未来のこども達のために」を目標に、“まちづくりプラン(計画)”をワークショップのなかで、みなさんと一緒に考え、『あしかりの未来は、きっとハレ』になるように活動していきます！

お問い合わせ

あしかりまちづくり協議会設立準備会
事務局：楠田 詞也(ふみや)
☎090-3884-4009
小城市企画政策課 地域づくり係
☎0952-37-6115



Instagram

スケジュール

第1回 7/27(日)

・どうみんな楽しく活動していくか考えよう！



第2回 9/20(土)

時間：9:00～11:00

場所：ひまわり「多目的室」

内容

- ・まちづくり(計画)のなかで何を優先的にやるのか考えよう！
- ・誰とどんな風に活動するのか考えよう！

第3回 11月頃

・具体的な活動スケジュールを考え、芦刈の未来を共有しよう！



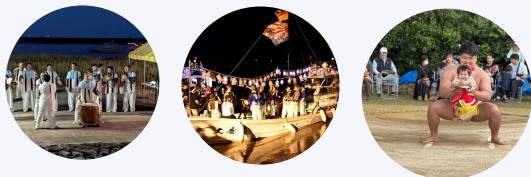
次回
ワークショップ！
9/20(土)
9:00～
「ひまわり」
で開催！

芦刈を「もっといいまち」にする作戦会議！【1回目】

1

準備会の発足とこれまでの活動内容を参加者皆さんへ共有。
町内全世帯を対象に実施したアンケートから見えた“現状と課題”を共有。

ふるさとづくり



○現状と課題

- ・長年住んでいるが、人との交流が希薄になってきている
- ・文化（太鼓浮立や面浮立など）を継承したいが、継承する人がいない
- ・芦刈の歴史を知りたい、著名な人や古くからの神社など誇れるものを知りたい

つながりづくり



○現状と課題

- ・若者が集まり、住み続けてくれるような町にしてほしい
- ・『あしばる』に学習スペースがあったら（中高生など）
- ・子どもが少なく、子どもクラブがないため、子どもも保護者も近所で交流がない
- ・子ども達が遊べる場所や交流できるイベントがほしい
- ・大人と子どもが共存できる公園づくり（農村公園など）

あんしんづくり



○現状と課題

- ・子どもが減少し、集団登校がないため、安心して学校への登下校ができない
- ・今は運転できるから大丈夫だが、将来は不安（公共交通は利便性が悪い）
- ・気軽に集まって飲食できる場所が少ない
- ・高齢者の買い物や通院が不便
- ・お菓子お惣菜（和え物や煮物など）を安価で買える場所が少ない
- ・子どもの塾やクラブ活動への送迎がむずかしい

2

アンケートの結果とこどものワークショップでの意見を基に、具体的な取り組み（案）を共有。
※“こども”と“おとな”の意見が同じものには下線を引いています。

具体的な取組（案）

- ・沖の島まいり・太鼓浮立
- ・御田まつり・面浮立・相撲
- ・芦刈の踊り
- ・芦刈を知る（行政区、防災マップ、地場産品）

具体的な取組（案）

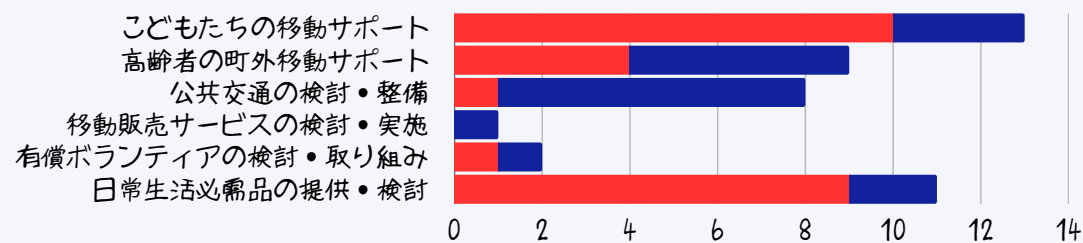
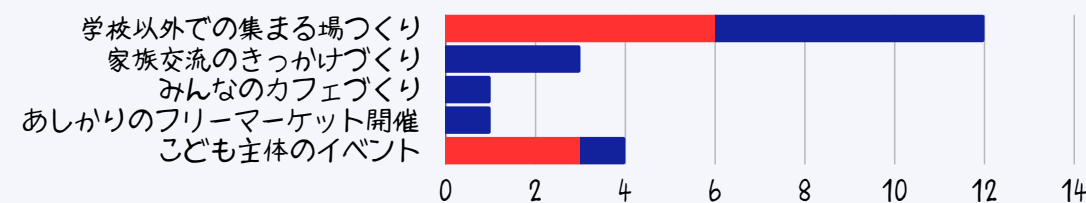
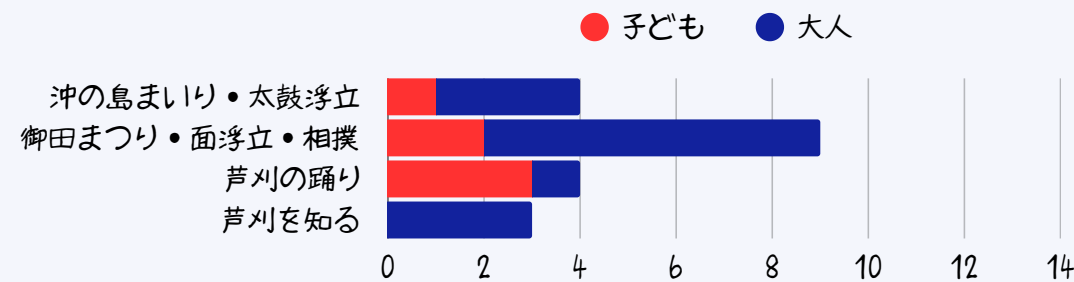
- ・学校以外での集まる場づくり
（公園、サークル、居場所、スポーツ、Wi-Fi整備など）
- ・家族交流のきっかけづくり（運動会、防災、研修会）
- ・みんなのカフェづくり（フードドライブ、家庭菜園）
- ・あしかりフリーマーケット開催
（洋服・制服、チャイルドシート、自転車など）
- ・こども主体のイベント（eスポーツ大会などの開催）

具体的な取組（案）

- ・こどもたちの移動サポート（登下校、遊ぶ際の移動など）
- ・高齢者の町外移動サポート（買い物、通院など）
- ・公共交通の検討・整備
- ・移動販売サービスの検討・実施
- ・有償ボランティアの検討・取り組み
- ・日常生活必需品の提供・検討
（こどもの文具・おやつ、惣菜、軽トラ市など）

3

活動の優先順位を考えよう！
共有した具体的な取り組み（案）以外にも、（案）がないかみんなで対話。
『やってほしい・やってみたい』項目に、“こども”は5こ、“おとな”は3こずつ ●シールを張ってもらい、優先順位の可視化を行う。



まとめ

アンケートや作戦会議で見えてきた“芦刈のキーワード”は『車に乗れる間は…』『移動手段があれば…』です。
そんななかでも、『集まる場所』『日常生活の必需品』は“こども”も“おとな”も取り組んでほしい課題みたいでした。
それを解決するためにも、たくさんの人のアイデアや工夫が集まって『みんなのでくっしこ』になることが大事！
そうやって知恵と力を出し合えば、芦刈で暮らし続けていく“芦刈らしいまちづくり”ができるのではと感じました。（準備会）

